



一の鳥居で街道は国道173号線から分かれ国道477号線沿いに進む

この分岐点以前は能勢妙見山の鳥居が建っていて付近の地名、駅名になった

能勢電鉄は大正2年妙見山の参拝客や三ツ矢サイダーを輸送するために一の鳥居まで開通。妙見口までは大正12年



**多太神社**  
延喜式内社  
創立年代は不明、現在の本殿は元禄六年(1693年)の造営



「右ゆもと道、左のせ道」

多太神社のすぐ東の街道沿いの地蔵真ん中の地蔵尊が道標を兼ねている



**多田神社**  
天禄元年(970)の創建、第五十六代清和天皇のひ孫源満仲公、頼光、頼信、頼義、義家の五公を祀る。源氏発祥の地

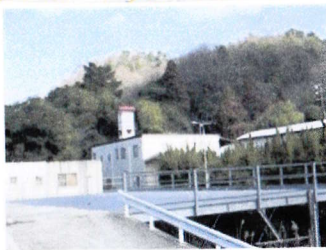


作図



能勢カントリーに挟まれた国道477を進むと能勢妙見山の鳥居が建っている

「古より石造の鳥居あり妙見道と呼ばれた現在の国道477号線に架り能勢妙見山参道の入り口となるがゆえに一の鳥居と称され付近の地名となる。その建立の始めは不詳なるも寛政六年十一月再建。以後幾度が再建修復す。歳下って平成七年一月十七日大地震あり鳥居も損壊を免れず往來に危険を生ず。時に能勢カントリー倶楽部の篤志あり。今この地に移



平野鉱泉  
日本初のサイダー「平野水」発祥の地  
後に「三ツ矢サイダー」となる



多田駅 (15:20)  
駅の間隔は短い  
多田はかつて鐵が産出されたところ。  
この先で国道173に再び合流する。